

## 6. 今後の検討イメージ

中間報告に対する意見募集では、これまでに見てきたとおり、幅広い意見等が出されました。特に、ホールの座席数や諸室等の導入する機能・規模については多様な意見がありました。また、検討段階から市民との密なコミュニケーションを求める意見もありました。そのため、今回の建設構想（案）では、ホール規模を中心に、施設概要を3つのパターンに整理し、今後もさらに意見を聴いていくこととしました。

以上を踏まえた今後の検討イメージは、下記のとおりです。

今回の建設構想（案）をもとに、まずは、施設の機能と規模について方向性を集約していけるよう意見を聴いていきます。

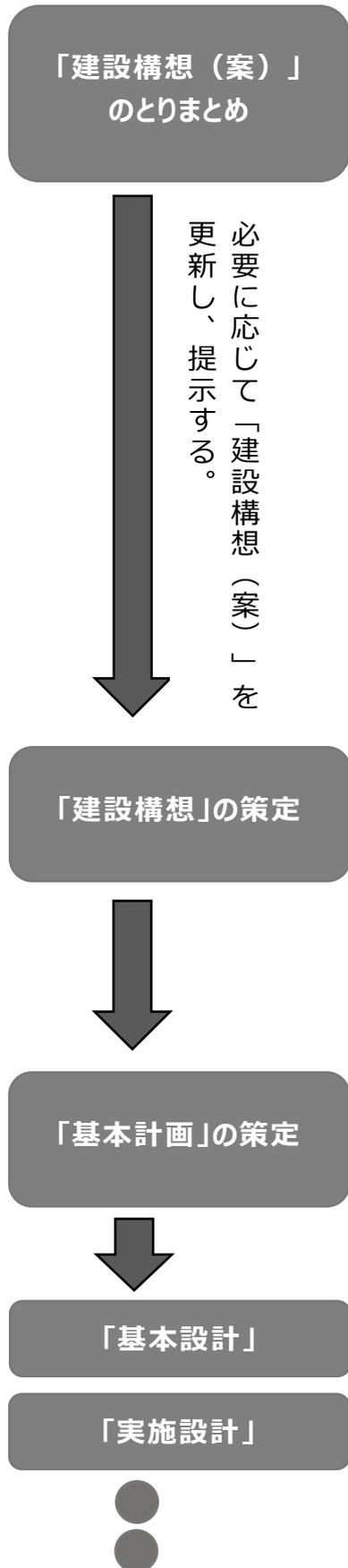
機能と規模が集約された時点で、必要な敷地面積が算出され、用地の取得費や造成費を試算できるようになります。また、建設にかかる総費用の概算も試算したうえで、民間活力を導入するようなPFI等の手法も整理します。

この間、必要に応じて、建設構想（案）を更新し、市民の皆さんに提示していきます。

意見が集約され、建設するとした場合の文化交流拠点施設の姿を示すことができる状態になったときに、意見交換会やパブリックコメント等を実施し、『建設構想』の策定を目指します。

その後は、策定した建設構想をもとに具体的な検討を行い、建設の是非を聴いていき、建設を前提として進めることになった場合に、「基本計画」を策定します。

<今後の検討イメージ>



**【今回】建設構想（案）の提示**

